

Hello! FUJISEI

No.26

老後生活資金、医療・介護問題など、老後の準備は現役世代から行う必要がありますが、まだまだ先のことと思っておられませんか。

2005年の世界の総人口は65億1227万人であり、2050年には91億4998万人になると見込まれています。総人口に占める65歳以上の者の割合（高齢化率）は、1950（昭和25）年の5.2%から2005年には7.3%に上昇していますが、さらに2050年には16.2%にまで上昇すると見込まれており、今後半世紀で高齢化が急速に進展することになります

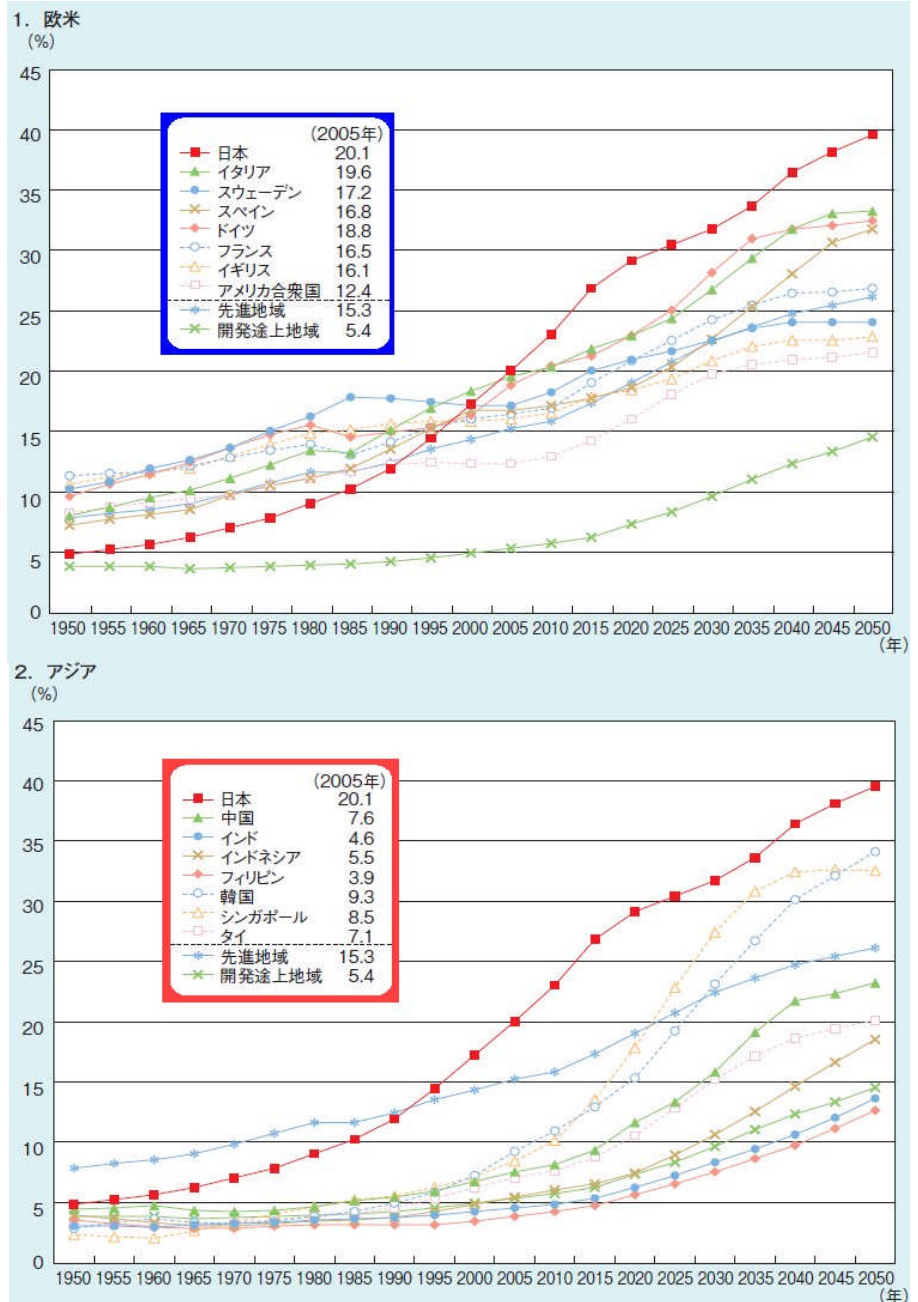
先進諸国の高齢化率を比較してみると、日本は1980年代までは下位、90年代にはほぼ中位でしたが、2005年には最も高い水準となり、世界のどの国もこれまで経験したことのない高齢社会を迎えています。

また、高齢化の速度について、高齢化率が7%を超えてからその倍の14%に達するまでの所要年数（倍化年数）によって比較すると、フランスが115年、スウェーデンが85年、比較的短いドイツが40年、イギリスが47年であるのに対し、日本は1970（昭和45）年に7%を超え、その24年後の1994年には14%に達していません。日本の高齢化は、世界に例をみない速度で進行しています。

驚異的な速さで進む日本の高齢化

どの国も経験していない 高齢社会を迎えている

世界の高齢化の推移



内閣府「平成22年版 高齢社会白書」より